

## 令和5年度第2回稲毛区支え合いのまち推進協議会 議事要旨

### 1 日 時

令和6年3月4日（月）午後1時30分から午後2時40分まで

### 2 場 所

稲毛保健福祉センター3階 大会議室

### 3 出席者

- (1) 委 員 荒川利重委員、井出孝子委員、伊藤正樹委員、岡山尚美委員、菊池まり委員、木村ユミ子委員、工藤和博委員、工藤嘉生委員、佐久間文子委員、関谷輝市委員、内藤八洲夫委員、深味肇委員、古沢幸子委員、星野正子委員、眞智洋二委員、松川智子委員、松野陽一委員、松原正道委員、茂手木直忠委員、森松助委員、吉岡加代子委員

※25名中 21名が出席

### 4 会議の概要

#### (1) 稲毛区支え合いのまち推進計画 令和5年度の取り組みについて

事務局から令和5年度の取り組みについて地区部会エリアごとのまとめた資料について説明した。具体的な取り組み項目ごとに代表する地区部会からの報告を行い、その項目について、質問、意見、他の地区における取り組みなどの意見交換をおこなった。

#### <取組項目 ①公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり>

・森委員（社協草野地区部会）→自治会やあんしんケアセンターなどといきいきサロンやあやめ台でほっとカフェ（地域カフェ）を開催している。いずれも盛況で、誰もが自由に参加できる場所を作っている。

#### <取組項目 ②健康づくりや介護予防の普及・啓発>

・星野委員（社協千草台中学校地区部会）→5町内がいきいきサロンを開催している。千草台団地は35年継続している。あんしんケアセンターとシニアリーダーの協力で月2回シニア体操を実施している。

#### <取組項目 ③あいさつから始まる地域との関わり>

・佐久間委員（社協山王地区部会）→小学校登校時にあいさつ運動を行っている。子供達も挨拶を返してくれる。地域の防犯パトロールの方もあいさつ運動をしながら活動している。  
・岡山委員（社協301（作草部・天台地区部会）地区部会）→あいさつ運動は、社協地区部会は輪番制で活動しているのか。

・佐久間委員（社協山王地区部会）→週1回の活動で、社協地区部会と民生委員が交代で行っている。

・事務局（委員欠席のため社協小仲台西地区部会分を報告）→あいさつ運動を広めるため、地域であいさつ標語が書かれたカードを掲示している。挨拶をテーマにした小学生の標語作品の募集を合同で小仲台東地区部会と行い、社協まつりで優秀作品を表彰している。

#### <取組項目 ④地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流>

・関谷委員（社協稲毛地区部会）→4年ぶりに昨年9月に敬老会を開催。対象者1,300人のうち180名参加した。今年2月にはわくわく広場を開催。インフルエンザの流行で参加者15名程度であったが昔の遊びなどで楽しんだ。地区部会内に小学校区が違う地域があり、案内をする際に問題が発生することがある。

・松野委員（社協稲丘地区部会）→地区部会の中の学校エリアの問題は、かなり行政によって違和感がある形になっている。私の地区部会も同じことが起きている。今後も流動的と思うが、是正するように考えてもらわなければならない。

#### <取組項目 ⑤地域で活動している人・組織同士の連携・協力>

・伊藤委員（社協緑が丘地区部会）→今年度も「緑ンピック」を開催し、千葉北高・緑が丘中の吹奏楽演奏、バルーンアート作成、凧の作成・校庭で凧あげなどを行った。コロナ禍においても規模縮小して継続していた。

#### <取組項目 ⑥地域住民の参加による見守り・支え合い>

・岡山委員（社協301（作草部・天台）地区部会）→6年前に「支え合いの会」を発足。身の回りで困っている本当に些細なことをお互い近い人が助け合ったら住みやすい街になるのではないかと考えて開始した。今のところ、電球交換、買物支援、ごみ出しの3点に限って行っている。協力員100名おり、民生委員がコーディネートしてくれてとても活躍してくれている。月1回報告をすることになっている。自治会の新役員はすべて協力員になっている地区もあるので少しずつ広がっていると感じている。

・松野委員（社協稲丘地区部会）→支え合いの会の協力員の確保はどうしているのか。

・岡山委員（社協301（作草部・天台）地区部会）→発足する時に各町内会の会長に話して、協力員を求めると声掛けした。年1回支え合いの会報告会を行っており、協力員の状況や活動内容を報告している。長く続いているのはそういうことをやってきたからかと思う。協力員カードがあって、「〇曜日ができます、こういうことができます」というような内容を書いてもらっている。

#### <取組項目 ⑦福祉活動の中核となれる人材の発掘・育成>

※社協地区部会からの報告なし（重点取組地区無し）

・岡山委員（社協301（作草部・天台）地区部会）→私の地区部会では、散歩クラブの担当で行くときには社協以外の人を連れてくることをルールとしていた。

#### <取組項目 ⑧地域での福祉教育の普及・啓発>

・工藤委員（小仲台東地区部会）→地区部会は毎月会合を行っており、高齢者福祉委員会、障害者福祉委員会等があり、担当を決めて進めている。子育て支援講座、情報交換会、健康づくり講座などを行った。

#### <取組項目 ⑨地域の情報の収集と発信>

・松野委員（社協稲丘地区部会）→所属の自治会は5つあり、自治会長、民児協役員の常任理事16名で構成される常任理事会を隔月で行い、情報の共有を図ることとしている。この内容を各自治会等に持ち帰っている。広報誌は年2回しか発行できなかったが、各自治会で広報誌を回覧していきたい。

#### <取組項目 ⑩身近な地域の相談相手の確保>

※社協地区部会からの報告なし（重点取組地区無し）

#### <取組項目 ⑪いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催>

・茂手木委員（社協轟・穴川地区部会）→災害対策の避難については、色々な情報を得なければいけないが、自治会が災害対策の実施について中心となる。民生委員の力、行政の災害弱者の情報が重要。エリア内の自治会、大学、あんしんケアセンターの協力を得て、大規模災害への準備を進めたい。

・眞智委員→能登地震の災害時も、福祉避難がかなり厳しい事態となっている。千葉市は、能登ほど津波被害は無いだろうし、高齢化率は低いと思うが、千葉市では個別避難計画の作成率はどのくらいか教えていただきたい。それが示されたうえで、皆さんで何ができるのかを考えていかなければならない。

・事務局→個別避難計画は、令和3年度から計画づくり着手しており、土砂災害区域、人工呼吸器装着者などを対象に、令和4年度末までに合計97件作成している。令和5年度は、土砂災害区域、人工呼吸器装着者などに加えて、浸水想定、重度心身障害者、要介護度が高い人などで200件を目標としている。市としては、現時点では、件数のみ公表しており、作成率は公表していない。

#### <取組項目 ⑫地域住民を地域で守る取組み>

・吉岡委員（社協緑・黒砂部会）→お互い挨拶を交わす「地域見守り隊」を10年以上続けており、顔見知りの関係を作りたいと思っている。町内会、民生委員等をお願いして、旗振りをしている。地域見守り隊は、地域を見守ると同時に自分を守りたいと考えており、地域は防犯を強化している。

## (2) その他

事務局から、令和6年度に行う委員改選の説明をおこなった。